



なごや とう まえ
名古屋テレビ塔ができる前

しょうわ ねん
昭和28年(1953)ごろ

みぎ とう
右がテレビ塔のたつところ。このころはなにもなく、遠くまで見わたせた。

とお いえ みせ おお
となりの通りには、家や店が多かった。



撮影：竹村文男

なごや ^{とう}名古屋テレビ塔がたつとちゅう ^{しょうわ} ^{ねん}昭和29年(1954)ごろ

^{みぎ}右にテレビ塔が見える。テレビ塔がたつ地^ちいきは、むかしから、
デパートや銀行^{ぎんこう}などがあつた。そのため、人^{ひと}が多く集^{おお}まるところ^{あつ}だった。



撮影：寺西二郎

ねんご なごや とう 10年後の名古屋テレビ塔 しょうわ ねん 昭和40年(1965)ごろ

とう テレビ塔のまわりは、ビルがたち、ひろば 広場ができて、おお ひと 多くの人が
あつ 集まるようになった。みち くるま 道には車、ろ めんでんしゃ 路面電車が通っていた。



撮影：寺西二郎

なごやとう
名古屋テレビ塔

しょうわねんだいこうはん
昭和30年(1955)代後半



撮影：寺西二郎

なごや
名古屋テレビ塔と路面電車・車

しょうわ ねん だいこうはん
昭和30年(1955)代後半



撮影：
寺西二郎

なごやとう
名古屋テレビ塔とそのまわりのまちのようす

しょうわねんだいぜんはん
昭和40年(1965)代前半



撮影：
中村義郎

なごや とう
名古屋テレビ塔

しょうわ こう き
昭和後期



なごや とう げん ちゅうぶでんりよく
いまの名古屋テレビ塔 (現 中部電力 MIRAI TOWER) れいわ ねん
令和2年(2020)

いまのテレビ^{とう}塔はテレビ^{ほうそう}放送のためという^{やくめ お}役目を終えて、まちのシンボルとして親^{した}しまれている。
テレビ^{とう}塔のまわりにビルがたちならび、^{おお ひと}多くのお人がおとずれている。